

車いすの寄贈

旭川地方道新会

地域住民と共同で 回収した空き缶のリングプルを 車いすとして寄贈

●実施期間

2005年4月～

●実施地域

上川、留萌、宗谷、網走の各支庁管内と北空知地方

●活動概要

旭川地方道新会は、2005年4月から「このまち大スキ北海道新聞」をキャッチフレーズにキャンペーンを展開、各地域の読者や地域の小・中学校の協力を得て回収した空き缶のリングプル660キログラムを車いす1台と交換して、老人ホームや社会福祉協議会などへ寄贈している。

5年間で9市33町2村の施設へ51台の車いすを寄贈しており、寄贈先からは「病院への移送サービスや旅行などで必要な人への貸し出しに使いたい」と喜ばれ、地域に根ざした活動である。

*

旭川地方道新会＝上川、留萌、宗谷、網走の各支庁管内と北空知地方管内の北海道新聞170販売所で組織。伊藤智夫（いとう・ともお）会長。

■中富良野町社会福祉協議会への寄贈（2009年10月6日）



左端が伊藤会長

■『リングプル』回収を呼びかける新聞広告

道新販売所と力を合わせ 『リングプル』を集めて 車いすを贈りませんか!!

★お問い合わせはお近くの道新販売所まで・・・旭川地方道新会（上川・宗谷・留萌・北空知・網走の販売所で構成しています）北海道新聞旭川支社・北海道新聞北見支社

道新販売所
が回収して
います

飲み口のこれです

集めたリングプルは道新販売所までご持参下さい。
車いすは旭川地方道新会から寄贈いたします。

このまち大スキ
北海道新聞

リングプルで車いす

旭川地方道新会
中央図書館に寄贈

同会が昨年四月から取り組んでいる「このまち大スキ 北海道新聞」キャンペーンの一環、販売所が地域と共同でリングプルを集め、車いすと交換し、福祉施設などに贈っている。今回で九回目となり、旭川では市科学館に次いで二回目。

伊藤会長から車いすを受け取った飯浜有明館長は「図書館は入り口が三力所あるが、車いすは二台しかなかった。これですべての入り口に設置できると感謝していた。」

飯浜館長（右）に車いすを手渡す伊藤会長（左）

藤智夫会長は、十九日、回収した空き缶のリングプルと交換して取得した車いす一台を旭川市中央図書館に寄贈した。

北海道新聞（旭川・上川） 2006年8月30日付

リングプル 福祉活動に

興部・沙留小 6年生が集め寄贈

【興部】沙留小の6年生が30日、校内で集めたリングプル約40ギを町内沙留の北海道新聞安藤販売所（安藤克重所長）に寄贈した。6年生10人は総合学習の一環で2008年春からリングプル回収に取り組み、回収箱やチラシを作って全校児童に協力を呼びかけた。沙留中への進学を前に回収分を寄贈し、福祉活動に役立ててもらったことにした。

寄贈式では児童が安藤所長にリングプルを手渡した。回収係の佐藤誠恵君と森山響君は「一人でも多くの人に役立つようにしてほしい」と話した。リングプルは旭川地方道新会に贈る沙留小の6年生

に送られ、福祉施設への車いす寄贈などに役立てる。

（竹中達哉）

北海道新聞（北見・オホーツク） 2010年3月31日付朝刊

車いす1台寄贈

旭川地方道新会

【中富良野】道北や網走管内などの北海道新聞販売店をつくる旭川地方道新会（伊藤智夫会長）は6日、町社去年9月、西中小児童会福祉協議会（大嶋滋会長）に空き缶のリングプル660ギと交換、回収の輪が広がっている。

大嶋会長は「病院へ使いたい」と喜んだ。

（安房寛）

泉谷所長（右）から車いすを受け取る堀院長（左手前）と山下栄副町長

興部販売所の泉谷重実所長らが国保病院を訪ね、車いすを贈ると、

北海道新聞（北見・オホーツク） 2008年5月20日付朝刊

車いす1台寄贈

旭川地方道新会

【中富良野】道北や網走管内などの北海道新聞販売店をつくる旭川地方道新会（伊藤智夫会長）は6日、町社去年9月、西中小児童会福祉協議会（大嶋滋会長）に空き缶のリングプル660ギと交換、回収の輪が広がっている。

大嶋会長は「病院へ使いたい」と喜んだ。

（安房寛）

車いすを受け取った町社協の大嶋会長（右端）

の移送サービスや、旅行などで必要な人への貸し出しに

北海道新聞（旭川・上川） 2009年10月8日付朝刊

北海道新聞（旭川・上川）
2010年5月21日付朝刊

図書館への書籍寄贈

ASA江差 所長 松崎 浩

郷土への思いから 書籍を寄贈する取り組み 地域発展に貢献

●実施期間

1990年11月14日～

●実施地域

北海道江差町

●活動概要

北海道の ASA 江差所長の松崎浩さんは1990年11月14日から、江差町立図書館へ年間複数回にわたり書籍を寄贈している。

初回の寄贈から20年を数え、合計寄贈数は1,026冊、金額にして120万円を超えている。

かつてはニシン漁で栄えた町も今では少子高齢化の波が押し寄せる中、新聞を届けること以外にも、生まれ育った江差町の発展に貢献したいとの思いから始めた寄贈で、地域に利益を還元する取り組みである。

*

松崎浩（まつざき・ひろし）



松崎所長



販売所前のご夫婦

ASA江差発行のミニコミ紙「繁次郎通信」・寄贈書籍名を掲載

繁次郎通信

発行：ASA江差（松崎 浩）
江差町字浅沢町345-17
☎（52）-0669
FAX（52）-1580
平成22年10月16日（土） №1,067

●救急当番医 ☆10月17日（日） 道立江差病院（☎52-0036）

☆ バスツアー情報
◆ 大門ほろ酔いはしご酒ツアー
今回は「中島れんばい」でも買物＆一杯と き：10月2日（土）ターミナル15:10発（最寄のバス駅に停車します）
参加費：大人2,500円 小人1,500円
※飲食代は個人負担となります。
申込期限：10月19日（火）
申込先：江差バス江差営業所（☎52-0025）

◆ 江差屏風と箱館奉行所
バスツアー参加者募集！
と き：10月24日（日）8:00役場前集合
参加費：一人2,000円（各参加者・障子保険）
昼食：「五稜郭タワー」やその付近（各自で）
見学：五稜郭タワー・南館奉行所・南館市北方 展覧館・道館元町相馬亭
申込先：江差舞士資料館（☎54-2188）
申込期限：10月20日（水）

☆ 朝日新聞（松崎）寄贈棚
図書室に次の本を入れましたので、ご利用下さい。
1. アイデアの接着力（ヒットは知識の融合から）
2. 正社員は危ない（リストラを、生き抜く方法）
3. 野暮のチカラ（30歳からのお金の教科書）
4. 戦国源氏列伝（北政所と隆景は仲良しだった）
5. 本を千年つたえる（冷泉家蔵書の文化史）
6. 実験対決（酸性・アルカリ性の対決）実験視察
7. 原節子 あるがままに生きて
8. 新聞の読み方（新聞で学力を伸ばす）
9. 生活見なし（野暮とブランド形成）
10. 心臓病とこころのケア
（ペースメーカー/ICDと歩むために）
11. 心臓力ふたたび私のいきいき体験
（もういちど、家族と。のびやかに暮す明日へ）
12. サメのおちんちんはふたつ
（不思議なサメの物語）
13. デジタルサイネージ革命
（2015年1月40億円市場 ITを越える第3...）
14. くらもちろね区有公園前線通所
（超人気ミステリー作家7人が関心を置く）

☆ 南が丘自治会と五勝手町内会
＆愛遊会 PG大会結果
10月10日（日）三者合同のパークゴルフ大会が運動公園パークゴルフ場で開催されました。
この会場は五勝手・南が丘町内会・自治会の全面的な支援の下で草刈などの整備作業が行われ、手厚りのパークゴルフ会場です。
開催の趣旨は、勝負より和気あふれ、親睦と交流を目的としておりますので、大会終了後ジーンズカンパを囲んで親睦を図っております。
参加人数は、交流会のみを含め54名です。

◆ 男子の部
優勝：広島 篤志（102） 2位：辻 優（104）
3位：大塚 隆（105）

◆ 女子の部
優勝：浅田由利子（112） 2位：久保ひろ子（112）
3位：高田 栄子（117）

☆ 運動免許証更新講習
と き：11月25日（木） ところ：江差町文化会館
◆ 優良：午後1時～1時30分
◆ 一般：1時45分～2時45分
◆ 初級：午後3時～5時
と き：11月9日（火） ところ：江差町文化会館
◆ 優良：午後1時～1時30分
◆ 優良：午後1時45分～3時45分
◆ 優良：午後3時～5時
◆ 「高齢者講習」
と き：厚沢町自動車学校（申込み必要） ☎64-3177
※ 人数に制限がありますのでお早めにお申込下さい。
※ 誕生日の5ヶ月前から受講出来ます。

繁次郎通信

発行：ASA江差（松崎 浩）
江差町字浅沢町345-17
☎（52）-0669
FAX（52）-1580
平成22年6月15日（土） №1,066

● 救急当番医 ☆5月15日（土） 上ノ国診療所（☎ 55-2017）

☆5月16日（日） 佐々木病院（☎ 52-1070）

☆ イベント情報
◆ 熊石あわびの里フェスティバル
あわび食街道・熊石あわびの里・いしえ食街道など色んな「食」が格安で味わえます。
と き：5月16日（日）9時30分開催
と ころ：熊石あわびの里
◆ ゲーム盛りだくさん
・ビンゴゲーム、ゴルフ玉への道、一人カーリング、サッカーゲーム、ダーツゲーム
◆ お楽しみ抽選会
・宿泊中後、あわびオーナー、あわびもまき
◆ 食の街道
・あわび食の料理など販売
・あわびイキタスコーナー（炭火無料可能）
◆ 郷土芸能：相澤道中・奇岩雲石太鼓
◆ 演劇のステージ：「輝英二歌謡ショー」

☆ 『新しい飼主ネットワーク』登録者募集中！！
責任をもって飼育していただきたいので、登録の際にいくつかの簡単な条件はありますが、新しい飼主ネットワークへの登録などの費用は無料となっております。ぜひ、この機会に「犬・猫」を飼いたいと思われている方はお申し込み下さい。
問い合わせ先：環境生活自然環境課（☎52-6494）
生活衛生課（江差保健所） ☎52-1053

☆ 上ノ国町長選
投票日：5月23日（日）（告示日18日）
投票時間：午前7時～午後6時
◆ 期日前投票
・投票できる期間：5月19日～22日
時間：午前8時30分～午後8時
場所：上ノ国町選挙管理委員会

☆ 都道府県名のルーツ
■ 岩手県
名山、岩手山からとられた県名である。荒々し火口壁をもつところから「岩山（いわいで）」の名がつけ、これが語って「岩手山」となった。
■ 秋田県
「アイタ」の音からきている。「アイ」は湖「タ」は地域を表し、水の湧いてるじめじめした土地、という意味である。

☆ 朝日新聞（松崎）寄贈棚
図書室に次の本を入れましたので、ご利用下さい。
1. ていねいなおかず 2. ていねいなおかず
（朝日新聞好評連載）おかず100選そろいました！
3. 暴走検校・上杉謙吉（検校 VS. 小沢VS. 酒田編）
（一連の出来事を「監獄捜査」だと考えるから真実が見えてくる）
4. アイリス（主演イ・ヨンヘ）
（TBS系にて4月21日21時より放送スタート）
5. 下地先生の教え（TBSさんまのからくりTVで現役教師が夢・挫折・生きがいに真剣に答えた本です）
6. 絵本処方箋（落合恵子（心に強く、絵本たち）
7. テレビのなみだ（仕事に悩めるあなたへの77話）
8. 松浦大助の仕事術（どんな仕事でもその売人がいることを忘れない）
9. 糖尿病に克つ新薬発見（新世代のクスリ登場）
10. 幸せなる 長寿ごはん（92歳、長寿の秘訣は毎日の食事にあり！！）
11. イチローに負けない重宝（イチローの本音）
12. 銀行融資の技（元銀行支店長が生き残る術伝授）
13. 若者のための仕事術（努力が仕事の喜びになる）
14. 「伝える言葉」プラス大先輩（大先輩から私たちに）
15. 千の風になつたあなたへ「贈る手紙」
（涙にははめ込んでみました。生きる元気を勇気をあげよう）

一山 紫水 後 報
貴 火 勘 化 天
下 所 内 社
熊 館 旅 員 転
氣 楽 旅 員 転
一 氣

煙火交換観覧禁止
光行紅珍市事日社
上情数地定鉄点都
突井名明

漢字
バズル
「バズル」は「バズ」に「ル」がついた言葉で、バズは「音」を意味し、ルは「回」を意味する。つまり「音を回す」という意味になる。

未来のジャーナリスト講座

ASA 世田谷ブロック

新聞記者として体験学習することで 子どもたちの才能の芽を 育てる役割を担う

●実施期間

2006年5月～

●実施地域

東京都世田谷区

●活動概要

ASA 世田谷ブロックでは、2006年5月に世田谷区内の中学生を対象に新聞社の仕事を体験してもらう「未来のジャーナリスト講座」を創設、今年で5年目を迎えている。

同講座は、区立中学校の生徒が記者となり、区内で働く人やゆかりの人々、歴史や自然などを取材、記事を執筆、紙面編集、印刷までを体験し、「朝日せたがや中学生新聞」に掲載して朝日新聞読者に届けている。

取材した子どもたちは、新聞のことを知り、身近な存在ととらえるようになった一方、読者からは「世田谷の一面を知った」などの反響があった。

*

ASA 世田谷ブロック＝東京都世田谷区内の朝日新聞32販売所で組織。井口忠寿（いぐち・ただとし）代表。

■取材風景



タンザニア大使館



社会人ラグビー部



映画館



東京急行世田谷線

■執筆風景



■朝日せたがや中学生新聞（記事下に講座への参加を呼びかける広告を掲載）



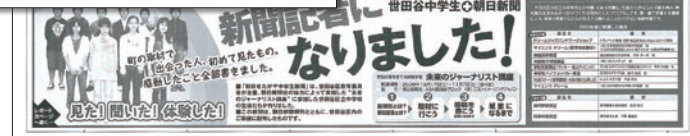
2008年10月15日付



狂言舞台実習



2008年1月15日付



2009年11月10日付

献血活動協力「まごころ献血」

東部読売会

献血への参加を呼びかける 29年にわたる奉仕活動

●実施期間

1981年～月1回実施

●実施地域

東京都江東区、江戸川区、葛飾区などの一部

●活動概要

東部読売会では、江戸川区・江東区・葛飾区の一部で、1981年から月1回「まごころ献血」を同会エリア内の複数の主要駅で実施しており、今年で29年になる。

葛西赤十字献血センター（現東京都赤十字血液センター）からの呼びかけに応じて活動を開始、事前に献血参加を呼びかけるチラシを折り込み、献血当日は販売所所長、従業員によるテントの設営、事務作業手伝いや通行人への献血者の呼びかけに協力、29年間の活動で延べ1万8,000人以上を動員して運動を続けている。

長期にわたる献血活動に対し、東京都赤十字血液センターから「支部長感謝状」を授与された。

*

東部読売会＝東京都江東区、江戸川区、葛飾区などの一部の読売新聞系統の40販売所で組織。國吉延男（くによし・のぶお）会長。

■「まごころ献血」活動

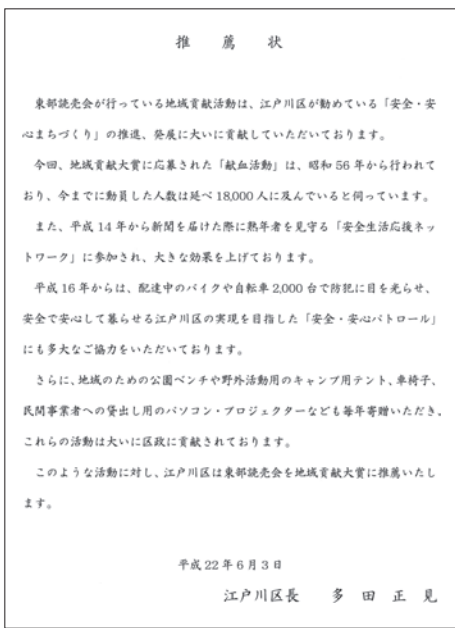


配布チラシのサンプル



活動開始当初から大切に使用されている看板

江戸川区長からの推薦状



■事前告知のチラシと当日の呼び込み

東部読売会エリア内の主要駅（JR亀戸駅、平井駅、新小岩駅、小岩駅、東西線西葛西駅、葛西駅）で毎月順番に採血車を配置、献血活動への貢献を開始。近年は、葛飾赤十字血液センターの方針により、活動は献血の少なくなる冬場の時期に特化。折り込みチラシによる事前告知、朝刊配達を終えた後、テントの設営など当日の準備を整え、スタッフ自ら街頭に立ち、献血を呼びかける運動を続けている。



2009年4月に都内全域でO型の血液が不足した際には、エリア内で約10,000枚のチラシを配布。過去最高の来場者を記録した献血ルームもあった。

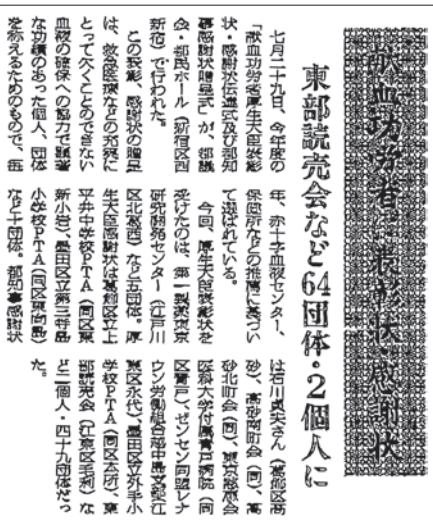


笑顔で声をかけるスタッフ



スタッフ自らも献血に協力

■地域紙「東都よみうり」などで活動を紹介

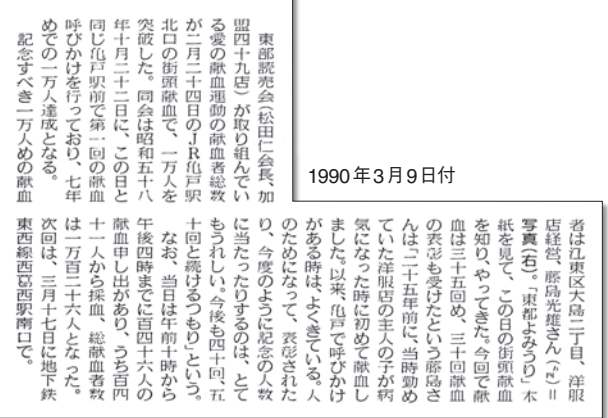


1998年8月14日付



献血者1万人を突破
2月24日のJR亀戸駅前
東部読売会

1990年3月9日付



1984年11月9日付



2009年3月6日付

社内報「販売ニュース」
2010年4月号